

# 西來寺報

二〇一六年 秋  
第二十二号

## 縁起

お釈迦様は存在や現象の原理ともいえる真理に目覚められました。そのことを「縁起法」とか「縁起の道理」といっています。あらゆる事は因縁によって起り、あらゆる存在はお互いに関係し合って成り立っているということですが。

今起こっている事の全てに因（そのなることの可能性）と縁（環境条件、出会い）が重なってそうになっている（果）のです。例えば、花が咲くには花の種（因）があつて、土とか水とか日光（縁）という条件が揃って、はじめて植物が生長し花が咲きます（果）。

また、人が生まれるのも両親がいてその両親にも両親がいて人は生まれてきます。そして空気、食べ物、日光など無数の縁によって生活しています。そのように思いますと、縁によって成り立っていないことは無

いのではないのでしょうか。

私たちはよく「縁起がいい」とか「縁起でもない」と言いますが、縁起とは条件が揃って起るものから、本当は良いも悪いも無いのです。善し悪しを決めるのは私の都合によっているのでしょうか。

念佛者で詩人の木村無相さんは「ご縁ご縁みなご縁、困った事もみなご縁」と言つて、我が身に起きたことはみなご縁として頂いておられます。私たちはともすると、目の前の事に一喜一憂してしましますが、すべて縁起によって成り立っていることを考えていないのでは無いのでしょうか。

目に見えない無数のご縁によつて、ここに暮らしている事を、昔の人は「お陰様」と言いました。私たち現代人はこの感覚を失っているのではないか、考えてみないといけませんね。

## 【ご住所に關してのお願い】

お引越などで、住所の変更がありました場合は、お手数ですが西來寺までご一報ください。

近年、横須賀市から転出者が増加している影響もあつてか、ここ数年の間に西來寺からの郵送物が住所の宛先に届かずに、戻つてきてしまう事例が増えております。

西來寺報だけではなく、法事のご案内などの大事なお知らせをお送りする為にも大切なことですので、お引越などでお忙しいと忘れがちかと思ひますが、お寺への連絡も忘れずにお願ひ致します。



8月20日撮影 裏庭のかぼちゃ

平成二十八年度報恩講  
講演 ひろさちや氏



撮影 児玉成一

## 報恩講

十月二十八日（金）

法要開始午後一時

講演開始午後二時十五分

終了午後四時

講題 「世界の宗教」

（真実を見るために）

現在、世界情勢もあり、宗教が恐ろしいものだと思われている気がしています。本来、宗教は人を幸せにするためのものです。今だからこそ私たちは、宗教について正しい知識を持つ事が必要ではないでしょうか。ひろさちや先生はその驚異的な知識と智慧で、優しくわかりやすく宗教を説かれる当代随一の方です。この混迷した宗教の世界を鮮やかに一刀両断して下さいと確信しています。

### 前任職本葬こぼれ話

本年5月の前任職葬儀の際には、皆様に本当にお世話になりました。葬儀が一段落し、ようやく義父の事をゆっくりと思いつきました。本葬のように思いつきませんでした。本葬の際には伝える事ができなかつた、ちよつとした話を書いてみたいと思います。

西来寺坊守

### 現任職の葬儀着用の衣

前任職の葬儀にあたり、現任職が着用していた衣を覚えていますか？ 普段目にしたことのない灰色の衣で素材は麻です。実はこの衣、縁あつて俳優の水谷豊さんにお貸ししたことのある物なのです。『あんちゃん』



という昭和57年頃に放映されたテレビドラマの第一話で水谷豊さんが着ていた衣がこれです。体型が似ているのか、二人ともピツタリなんです。

### 引き出物

本葬で皆様にお渡しいたしました引き出物は以下の通りです。

- ・お茶 ・お念珠袋
- ・ゴデイバのチョコ

「何故チョコが？」と思われた方も多いと思いますが、実はこれ、全部前任職の好きだった物なのです。前任職は本当にゴデイバのチョコが大好きで、最晩年まで人任せにせず、自分で買いに行っていたほど好きでした。ありきたりな物にせず、少しでも義父の好きだったものをお渡ししたいと思い選びました。

### 本葬通夜の御斎（精進料理）

本葬通夜の御斎は召し上がっていただけましたでしょうか？ 美味しそうですね。しかしちよつと、一般の葬儀の際には目にしないお料理もあったと思います。あの料理は肉と魚を（ほぼ）使わない精進料理だったのです。

前任職は生前「お寺の通夜ぶるま

いは精進料理で出来るといい」と言っていました。京都や北陸ではよくありますが、最近では関東でそういった習慣も少なくなり、なかなかやってくれるお店が見つかりません。前任職の言葉を思い出し、なんとか精進料理でやれないだろうかとお願ひし、米が浜の茶屋さんの協力によって実現しました。

それから大きなおほきもありました。あれも前任職の好物で、意外と甘い物好きだったのです。

### 前任職のアルバムから

この写真は海外旅行でレストランのウエイトレスさんと撮つたものです。くつろいで嬉しそうな表情が義父らしい。実は優しい義父でした。



1997年 フランスのレストランにて

## 季節の一句

朝顔の

いち番咲きに

子の歡喜

鈴木まさ

選評

私たちは歳を重ね経験を重ねると、起こる物事を「知っている」「当たり前」と思ってしまうがちです。朝顔が咲いた様子に、こんなにも感動できる子のみずみずしい感性がいかに素敵なことでしょう。微笑まじさと共に心が洗われるような一句を選ばせていただきました。（編集部）

### 募集 俳句を募集しています

西来寺報では俳句を募集しております。今号では、九月から十一月の季語を入れてご応募ください。心に残った素敵な句を次号で紹介させていただきます。

〈宛先〉〒238-0051

神奈川県横須賀市不入斗町3-38

西来寺報俳句係まで